

# 鳥取道における沿線施設を活用した高速道路の利便性の向上策

国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所 正会員 田中 衛、前田 文雄

## 1. はじめに

新直轄方式にて整備された鳥取道は、料金は無料であるが、コスト削減の観点から本線上にサービスエリアやガソリンスタンド（以下、「GS」）が設置されておらず、高速道路としてのサービスが不十分な状態にある。そのため、ガス欠により路肩に停車する車両が発生するなど、高速道路の安全走行に支障が生じていた。

そこで、インターチェンジを降りて、高速道路外に存在する道の駅やGSの活用による道路利用者へのサービス向上が急務であり、道路管理者として様々な利便性向上策を実施してきた。本稿では、その中でも鳥取道にて試行した沿線GSを活用したガス欠対策を紹介する。

## 2. 現状と課題

### 2-1. ガス欠車両の発生状況

平成22年3月の鳥取県内区間の全線開通後より2年間で鳥取河川国道事務所で把握したガス欠車両は11件であった。発生場所は、鳥取道の中間付近である智頭IC周辺および終点部の鳥取IC付近で多くなる傾向であった。

### 2-2. GS配置状況

鳥取道の本線上にGSは存在しない。鳥取道と接

続する中国道の加西SA、勝央SAにGSは存在するが、両SAを起点に鳥取ICまでは約90km以上離れており、その間は高速道路上での給油を行うことはできない。ただし、高速道路外にはGSが各IC出口周辺に存在している。

そこで、沿線GSへ鳥取道本線から適切に案内誘導を行うことで、ガス欠発生を防止できる可能性が考えられる。今回は、過去のガス欠発生状況やIC周辺でのGS立地状況を鑑み、智頭ICを対象として案内看板による案内誘導の試行を実施した。(図-1: ガス欠の発生状況と高速道路上のGSの配置状況)

## 3. 案内誘導にあたっての検討事項

### 3-1. 案内誘導するGSの範囲

高速道路を一旦降りてGSを利用することの道路利用者の心理的な抵抗感は強い。そこで、道路利用者アンケートを行い、約6割が降りることに抵抗がないと答えた高速道路ICから5分(2.5km)以内を案内誘導するGSの範囲とした。

### 3-2. GSの営業時間

ガス欠防止のためには、案内誘導すべきGSは年中無休で24時間営業であることが望ましい。しかしながら、鳥取道沿線には24時間営業を行っているGS店舗が存在しないため、案内看板に営業時間を

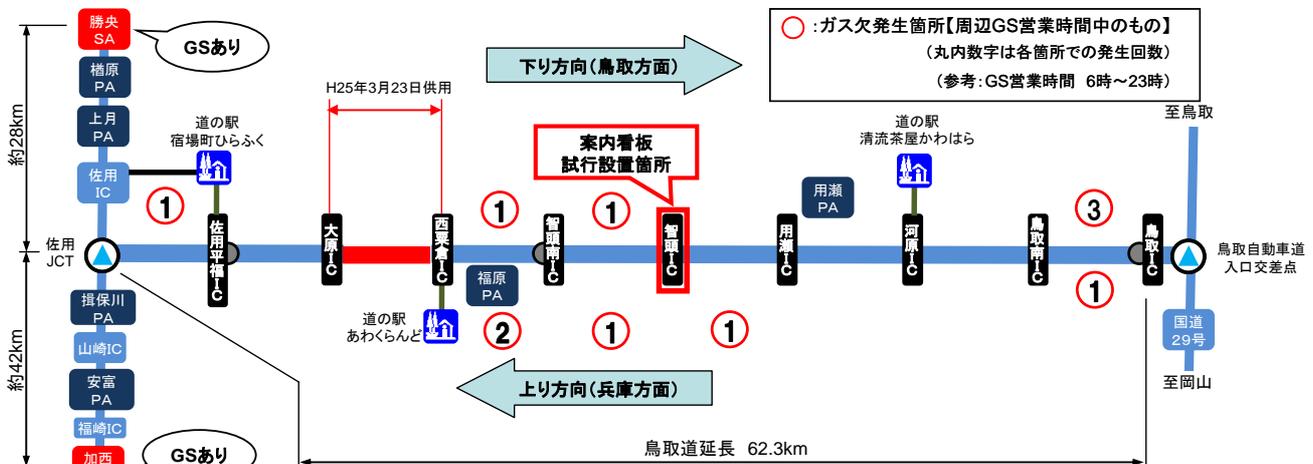


図-1 ガス欠の発生状況と高速道路上のGSの配置状況

キーワード：鳥取道、新直轄、ガス欠対策、ガソリンスタンド、案内看板

鳥取県鳥取市田園町4丁目400番地 TEL:0857-22-8435 FAX:0857-29-8548

表記することで、道路利用者に対し適切な情報提供を行った。

### 3-3. 案内看板の設置箇所

GS までの適切な案内誘導を行うためには、高速道路本線上から案内看板を設置する必要があるが、高速走行を行う車両の安全性を確保するためには、案内看板の視認性の確保や、看板乱立によるドライバーの混乱を避けることが重要である。

そのため、高速道路本線上には上下線各 2 箇所(テーパー端、IC2km 手前付近)とし、一般道路との分岐点には 1 箇所設置した。

### 3-4. 案内看板の表示内容

高速道路本線上の案内看板は安全性を考慮し、簡潔な情報提供を行うため距離は明示せず「出口周辺」として GS ピクトグラムを表示した(写真-1)。一般道路との分岐点に設置する案内看板については、営業時間が異なる店舗への確実な誘導を行うため、各 GS 店舗のロゴマーク及び営業時間を表示することで、道路利用者のニーズに対応できるようにした(写真-2)。



写真-1 高速道路本線上の案内看板



写真-2 一般道路分岐点部の案内看板

## 4. 取り組み結果(効果)

### 4-1. ガス欠車両の減少

平成 24 年 4 月 26 日より案内看板を設置した後、平成 25 年 1 月末現在、智頭 IC 通過後の近傍でガス欠は発生しておらず、ガス欠対策としての効果を確

認できた。

### 4-2. 看板による案内誘導効果

案内看板設置後に実施したアンケート調査や交通量調査結果によると、給油目的がある道路利用者に対しては、約 7 割が案内看板に気付いているという高い認識度が確認できた(図-2)。

また、鳥取県外ナンバー車両だけに着目すると、案内看板による GS への誘発交通は智頭 IC 利用車両の約 5%となっていた。高速道路本線上の案内看板の誘発効果と考えれば、沿線観光地への案内誘導に応用すれば、地域活性化への一助となる可能性がある。

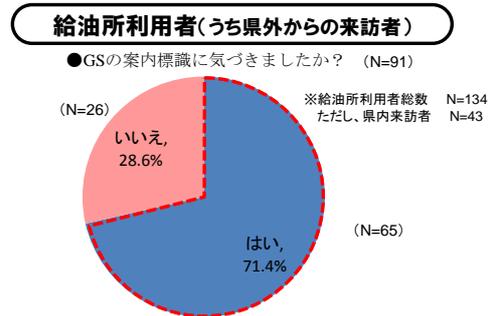


図-2 アンケート結果(看板の認識度)

### 4-3. 利用者の安心感の向上

給油目的のない道路利用者に対して行ったアンケート調査結果より、約 7 割が案内看板により給油に対する安心感が得られるとの回答となっていた。本取り組みにより、多くの道路利用者にとってサービスが向上したとも言える(図-3)。

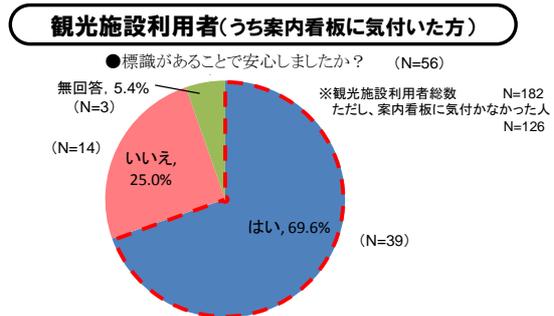


図-3 アンケート結果(利用者の安心感)

## 5. まとめ

鳥取道の智頭 IC での試行では、案内看板による高速道路から沿線 GS への案内誘導はガス欠対策として有効であることを確認した。今後は、他の IC へ取り組みを拡大する予定である。

最後に、本試行にあたり、ご指導いただきました筑波大学大学院石田教授を始め、ご協力いただきました智頭町ほか関係者の皆様に感謝申し上げます。